

## Market News - 2016.March (No.14)

謹啓 厳寒の候、貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて表記の件、Market News 3月号 (No.14) を発行致しましたので、ご一読頂きますと幸いです。引き続き弊社並びに弊社取り扱い製品をよろしくお願い申し上げます。

敬具

### (1) 2015 年 北米産原料じゃがいも年間収量予測 (単位: 万トン)

NAPMN 誌は 1/27 号にて、2015 年の北米産及びカナダ産原料じゃがいも収量予測を発表した。米国産夏作収量 (△5.35 万トン) と秋作収量 (△18.69 万トン) が 2015 年 11 月時点予測から下方修正され、米国産年間収量は 1,998.11 万トン (前年比△0.4%) となる見通し。

一方、カナダ産原料じゃがいもの年間収量は 2015 年 11 月時点より上方修正された 478 万トン (前年比+4.7%) が見込まれる。収量が大きく増加した地域は、沿岸部地区のニューブランズウィック州、ケベック州、プレーリー地区のマニトバ州やアルバータ州となっている。

米国とカナダを併せた北米産原料じゃがいもの年間収量見通しは 2,476.11 万トン (前年比+0.6%) となった。

作柄	2013 年	2014 年	2015 年産収量見通し			2014 年比
			15 年 11 月時点	16 年 1 月時点	調整率	
【米国産春作収量】	100.43	102.56	91.04	91.85	0.9%	-10.4%
【米国産夏作収量】	78.20	71.94	76.70	71.35	-7.0%	-0.8%
【米国産秋作収量】	1,792.99	1,831.18	1,853.55	1,834.86	-1.0%	0.2%
<b>【米国産年間収量合計】</b>	<b>1,971.62</b>	<b>2,005.68</b>	<b>2,021.24</b>	<b>1,998.11</b>	<b>-1.1%</b>	<b>-0.4%</b>
<b>【カナダ産年間収量合計】</b>	<b>466.03</b>	<b>456.55</b>	<b>475.51</b>	<b>478.00</b>	<b>0.5%</b>	<b>4.7%</b>
プリンスエドワードアイランド州	113.4	114.5	112.7	112.7	0.0%	-1.5%
ニューブランズウィック州	61.9	64.9	68.5	68.5	0.0%	5.5%
ノバスコシア州	2.0	2.2	1.5	1.5	0.0%	-32.4%
ニューファンドランド州	0.4	0.3	0.3	0.3	0.0%	-9.1%
ケベック州	53.7	51.5	57.0	59.5	4.4%	15.6%
オンタリオ州	38.3	37.3	36.2	36.2	0.0%	-3.1%
マニトバ州	97.7	87.3	98.1	98.1	0.0%	12.4%
サスカチュワン州	8.1	6.7	6.8	6.8	0.0%	0.9%
アルバータ州	82.7	84.8	87.4	87.4	0.0%	3.1%
ブリティッシュコロンビア州	7.7	7.1	7.1	7.1	0.0%	-0.5%
<b>【北米産年間収量合計】</b>	<b>2,437.60</b>	<b>2,462.23</b>	<b>2,496.75</b>	<b>2,476.11</b>	<b>-0.8%</b>	<b>0.6%</b>

Source: USDA and Statistics Canada

## (2) 2015 年 米国ポテト製品分野別輸出量 (単位: 万トン)

US International Trade Commission (アメリカ国際貿易委員会) が月次に発表する米国の 2015 年ポテト製品輸出量推移のサマリーは以下の通り。

**冷凍加工品**：西海岸港湾荷役労使交渉妥結後の出荷再開による反動が 4～5 月に顕著に現れ、上半期の輸出量は大幅減となったが、8 月からの輸出量は回復基調に戻った (11 月の大幅増による反動で、12 月は一時的な落ち込みを見せた)。

**生食用**：最大輸出先であるカナダ向け輸出が大きく低迷したが、メキシコ及び韓国向け輸出量が急増したことにより、全体数値の落ち込み幅は相殺された。11 月、12 月のメキシコ向け輸出量はカナダ向け輸出量を 2 ヶ月連続で上回った。

**ディハイ加工品**：日本向け輸出が最も大きな伸びを見せ、カナダ、オーストラリア、中国、アジア各国向けの輸出量も好調に推移した。

**チップス向け**：最大輸出国であるカナダ向けは微増、メキシコ、UAE (アラブ首長国連邦) 向け輸出は好調であった。

ヨーロッパにおける 2015 年産収量の大幅減により、2015 年後半は冷凍加工品、ディハイ加工品、チップス加工品分野における一部ビジネスが米国産へ移行している兆候が顕著であった。

分野	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
冷凍加工品 フライ製品含む	2014 年	7.81	7.58	7.99	8.31	9.85	9.28	6.67	7.40	6.96	8.08	6.09	7.26
	2015 年	7.03	8.09	8.56	7.95	6.48	6.43	6.63	8.51	7.51	8.91	9.15	6.72
	前年比	90.1%	106.7%	107.1%	95.7%	65.8%	69.3%	99.5%	115.1%	107.9%	110.2%	150.3%	92.5%
生食用	2014 年	2.74	2.73	3.19	2.64	3.44	4.03	4.76	4.16	3.32	3.14	2.82	3.26
	2015 年	2.86	2.57	2.60	2.62	3.64	4.99	4.84	3.76	2.70	2.60	3.09	2.59
	前年比	104.4%	93.8%	81.4%	99.2%	105.7%	123.8%	101.7%	90.3%	81.5%	82.9%	109.7%	79.3%
ディハイ加工品 (フレーク)	2014 年	1.05	1.11	1.21	1.18	1.26	1.49	1.32	1.10	1.00	1.07	1.00	1.16
	2015 年	0.94	1.08	1.76	1.55	1.42	1.75	1.46	1.42	1.32	1.30	1.06	1.25
	前年比	90.0%	97.5%	144.7%	131.9%	113.2%	118.0%	110.2%	128.3%	132.8%	121.6%	106.7%	108.0%
チップス向け (グラニュール)	2014 年	0.34	0.33	0.41	0.42	0.36	0.40	0.46	0.39	0.38	0.42	0.35	0.38
	2015 年	0.39	0.39	0.43	0.41	0.44	0.39	0.43	0.38	0.41	0.47	0.41	0.39
	前年比	115.0%	119.3%	106.2%	96.6%	120.0%	98.4%	94.5%	97.2%	108.0%	110.8%	114.5%	101.7%
ポテト製品 輸出量合計	2014 年	25.97	25.85	28.09	28.00	32.13	33.10	27.87	27.14	24.74	27.40	22.40	26.26
	2015 年	24.12	26.79	31.98	29.46	26.86	29.94	28.59	30.80	27.30	30.08	29.40	25.07
	前年比	92.9%	103.6%	113.9%	105.2%	83.6%	90.5%	102.6%	113.5%	110.4%	109.8%	131.3%	95.5%

Source: US International Trade Commission database

## (3) 2015 年 米国冷凍ポテト製品在庫量 (単位: 万トン)

USDA-NASS (米国農商務省 国立農業統計局) が月次に発表している 2015 年の米国冷凍ポテト製品月末在庫量推移を以下表にまとめた。注目すべき点は冷凍フレンチフライ製品の在庫量が 9 月以降に前年を下回っていたことである。米国からの 8～11 月における冷凍加工品輸出量 (フレンチフライ含む) は前年を 19.5% 近く上回った一方、米国内フレンチフライ製品需要には大きな増加が見られなかった。12 月末時点の在庫量が記録的に低い水準で着地したことから、フレンチフライの輸出市場における米国産製品への需要増加が、9 月以降の米国月末製品在庫を引き下げていたものと推定される。

月	冷凍フレンチフライ製品			その他冷凍ポテト製品			冷凍ポテト製品合計		
	2014 年	2015 年	前年比	2014 年	2015 年	前年比	2014 年	2015 年	前年比
1 月	41.43	40.31	97.3%	8.68	8.70	100.2%	50.11	49.01	97.8%
2 月	41.94	41.68	99.4%	9.04	9.42	104.2%	49.22	51.10	103.8%
3 月	38.13	41.63	109.2%	9.24	10.02	108.4%	47.37	51.65	109.0%
4 月	36.57	39.87	109.0%	9.20	9.90	107.5%	45.78	49.77	108.7%
5 月	35.41	41.78	118.0%	9.19	9.82	106.8%	44.61	51.60	115.7%
6 月	36.62	41.57	113.5%	9.32	10.68	114.5%	45.94	52.25	113.7%
7 月	32.91	37.75	114.7%	9.01	10.57	117.3%	41.92	48.33	115.3%
8 月	33.66	37.60	111.7%	8.83	10.00	113.3%	42.48	47.60	112.1%
9 月	37.98	37.73	99.3%	9.18	9.87	107.5%	47.16	47.60	100.9%
10 月	40.37	39.51	97.9%	9.50	9.91	104.3%	49.87	49.42	99.1%
11 月	40.85	38.58	94.5%	9.30	9.30	100.0%	50.15	47.90	95.5%
12 月	38.22	36.66	95.9%	8.53	8.95	104.9%	46.74	45.60	97.6%

Source: USAD-NASS Monthly Cold Storage report

#### (4) 冷凍フレンチフライ製品(税番コード HS 2004.10) 上位 10 ヶ国年間輸出品 (単位: トン)

World Potato Market 誌は 2/16 号に冷凍フレンチフライ製品輸出品上位 15 ヶ国の年間輸出品最新データを発表した (以下データでは上位 10 ヶ国のみ記載)。本データは同一経済圏への輸出品を含み (EU 圏内、米国⇔カナダ間など)、冷凍フレンチフライ製品の実質的な世界市場規模が記載されている。ヨーロッパのフレンチフライ製品主要生産国であるベルギー、オランダ、フランス、ドイツからの輸出品は全て前年を上回っており、なかでもベルギーとオランダの伸長率は著しい。米国からの輸出品は、西海岸港湾荷役労使交渉の影響によって前年比マイナスとなった。上位 10 ヶ国の年間輸出品は前年比 5.9% 増となり、世界市場が依然拡大を続けていることが読み取れる。

No.	国名	集計最終月	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	2014/15	前年比(%)
1	ベルギー	10 月	1,393,064	1,571,117	1,595,671	1,755,318	1,976,322	112.6%
2	オランダ	10 月	1,397,293	1,447,276	1,403,144	1,440,760	1,534,459	106.5%
3	カナダ	12 月	898,531	880,425	924,010	919,750	955,750	103.9%
4	米国	12 月	832,618	928,928	924,185	940,057	929,659	98.9%
5	フランス	11 月	366,597	362,256	324,752	325,061	335,130	103.1%
6	ドイツ	10 月	210,949	287,094	262,911	279,615	309,425	110.7%
7	ポーランド	10 月	126,845	155,123	170,466	171,636	159,460	92.9%
8	アルゼンチン	10 月	164,167	129,214	169,968	150,722	145,172	96.3%
9	ニュージーランド	12 月	71,035	55,139	69,121	64,766	55,302	85.4%
10	エジプト	10 月	47,453	47,324	40,713	44,030	51,262	116.4%
合計			5,508,552	5,863,896	5,884,941	6,091,715	6,451,941	105.9%

Source: Global Trade Information Services

(5) オリンピック開催国のフレンチフライ製品輸入量推移 (単位: トン/税番コード HS 2004.10 のみ)

World Potato Market 誌は 2/23 号にて、過去のオリンピック開催国におけるオリンピック開催年とオリンピック開催前後 1 年の輸入量比較及び開催各国の 2015 年現在における冷凍フレンチフライ製品輸入量を発表した。ギリシャを除いた開催国の全てにおいて、開催年の輸入量は開催前年を上回っており、その後の輸入量は全ての国において大きく伸びている。2016 年に開催されるリオデジャネイロ・オリンピックが、世界最大のフレンチフライ製品輸入国 (同一経済圏取り引きを除く) であるブラジルの輸入量にどのような影響を与えるのか興味深い。

開催年	国名 (都市)	フレンチフライ製品輸入量						
		開催前年	開催年	前年比	開催翌年	前年比	2015 年	開催年比
2000 年	オーストラリア (シドニー)	3,368	12,089	358.9%	12,377	102.4%	121,806	1,007.6%
2004 年	ギリシャ (アテネ)	53,810	52,923	98.4%	56,712	107.2%	67,346	127.3%
2008 年	中国 (北京)	55,376	58,052	104.8%	40,933	70.5%	145,127	250.0%
2012 年	イギリス (ロンドン)	476,385	483,128	101.4%	598,756	123.9%	521,643	108.0%
2016 年	ブラジル (リオ)	292,806	?	?	?	?	292,806	-

Source: Global Trade Information Services

(6) 2016 年 1 月 日本の冷凍ポテト製品輸入量 (単位: トン)

2016 年 1 月の冷凍ポテト製品輸入量は前年比 4.9% 増の 26,853 トンとなった。日本市場全体の冷凍ポテト製品輸入量は、2015 年 10 月から 4 ヶ月連続で前年を上回っている。1 月の米国からの輸入量は前年比微減となったが、昨年 1 月の実績は西海岸港湾荷役労使交渉問題によって大幅に減少していたため (2015 年 1 月の輸入量は 2014 年比 4,641 トン減)、本年 1 月の米国製品輸入量は不振であったと言わざるを得ない。ベルギー・オランダ両国からの製品輸入量は引き続き増加を続けており、ヨーロッパ製品の市場占有率が更に伸びていくことが予想される。

輸入国	2016 年 1 月	前年同月比	15 年総輸入量	16 年総輸入量	前年累計比
アメリカ	18,350	99.3%	240,011	18,350	99.3%
ベルギー	3,050	162.6%	34,022	3,050	162.6%
カナダ	1,901	81.0%	27,511	1,901	81.0%
オランダ	2,050	174.4%	19,563	2,050	174.4%
ニュージーランド	185	73.2%	3,091	185	73.2%
ドイツ	263	134.5%	2,565	263	134.5%
フランス	123	63.0%	1,514	123	63.0%
エジプト	0	0.0%	1,742	0	0.0%
中国	836	85.2%	11,320	836	85.2%
その他	95	230.9%	766,805	95	230.9%
<b>輸入量合計</b>	<b>26,853</b>	<b>104.9%</b>	<b>342,105</b>	<b>26,853</b>	<b>104.9%</b>

出典: 財務省貿易統計 (税番 HS2004.10 及び 0710.10)

以上